

平成 25 年度 大栄経理学院

第 136 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商業簿記

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	車 両	2,500,000	車 両	2,000,000
	車両減価償却累計額	1,800,000	未 払 金	2,200,000
			固 定 資 産 売 却 益	100,000
2	法 人 税 等	3,700,000	仮 払 法 人 税 等	1,550,000
			未 払 法 人 税 等	2,150,000
3	研 究 開 発 費	950,000	当 座 預 金	450,000
			未 払 金	500,000
4	受 取 手 形	3,120,000	受 取 手 形	3,000,000
			受 取 利 息	120,000
	受 取 利 息	80,000	前 受 利 息	80,000
5	当 座 預 金	25,000,000	別 段 預 金	25,000,000
	新株式申込証拠金	25,000,000	資 本 金	12,500,000
			資 本 準 備 金	12,500,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

(1)

仕 訳 日 計 表				
平成 26 年 2 月 1 日				
借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
211,000	省	現 金	省	109,400
50,000		受 取 手 形		32,000
229,000		売 掛 金		208,500
250,000		未 収 金		16,000
		土 地		220,000
27,000	略	支 払 手 形	略	28,000
180,000		買 掛 金		197,000
11,000		未 払 金		
		借 入 金		100,000
1,500		売 上		229,000
	)	固 定 資 産 売 却 益	)	30,000
197,000		仕 入		1,000
14,400		消 耗 品 費		
1,170,900				1,170,900

(2)

## 総勘定元帳

## 受取手形

平成26年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省	41,000		借	41,000
	" 仕訳日計表	略)	50,000		"	91,000
	" "			32,000	"	59,000

## 支払手形

平成26年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省		32,000	貸	32,000
	" 仕訳日計表	略)		28,000	"	60,000
	" "		27,000		"	33,000

(3)

## 得意先元帳

## 横浜商店

平成26年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省	240,000		借	240,000
	" 売上伝票	略)	135,000		"	375,000
	" 入金伝票			57,000	"	318,000
	" 振替伝票			80,000	"	238,000

## 大阪商店

平成26年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省	175,000		借	175,000
	" 売上伝票	略)	94,000		"	269,000
	" "			1,500	"	267,500
	" 入金伝票			20,000	"	247,500
	" 振替伝票			50,000	"	197,500

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 3 問

## 本支店合併損益計算書

自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日

(単位：円)

I 売 上 高		( 13,465,000 )	
II 売 上 原 価			
1 期首商品棚卸高	( 1,699,600 )		
2 当期商品仕入高	( 8,317,000 )		
合 計	( 10,016,600 )		
3 期末商品棚卸高	( 1,642,500 )	( 8,374,100 )	
売 上 総 利 益		( 5,090,900 )	
III 販売費および一般管理費			
1 給 料	( 2,796,000 )		
2 減 価 償 却 費	( 314,850 )		
3 貸倒引当金繰入	( 89,000 )		
4 広 告 宣 伝 費	( 655,400 )		
5 支 払 運 賃	( 248,000 )		
6 水 道 光 熱 費	( 146,000 )	( 4,249,250 )	
営 業 利 益		( 841,650 )	
IV 営業外収益			
1 受 取 手 数 料	( 317,200 )		
2 仕 入 割 引	( 28,700 )	( 345,900 )	
V 営業外費用			
1 支 払 利 息		( 28,000 )	
当 期 純 利 益		( 1,159,550 )	

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

工 業 簿 記

第 4 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	材 料	853, 200	買 掛 金 材 料 副 費	790, 000 63, 200
(2)	材 料 副 費 配 賦 差 異	16, 800	材 料 副 費	16, 800
(3)	仕 掛 品 製 造 間 接 費	1, 087, 200 36, 000	賃 金 ・ 給 料	1, 123, 200
(4)	仕 掛 品	3, 261, 600	製 造 間 接 費	3, 261, 600
(5)	製 造 間 接 費 操 業 度 差 異	56, 000 122, 400	予 算 差 異 製 造 間 接 費	56, 000 122, 400

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

全部原価計算による損益計算書		(単位:円)
売 上 高	(	7, 142, 400 )
売 上 原 価	(	5, 022, 000 )
配 賦 差 異	(	168, 000 )
売 上 総 利 益	(	1, 952, 400 )
販 売 費	(	838, 000 )
一 般 管 理 費	(	720, 000 )
営 業 利 益	(	394, 400 )

直接原価計算による損益計算書		(単位:円)
売 上 高	(	7, 142, 400 )
変 動 売 上 原 価	(	2, 790, 000 )
変 動 製 造 マー ジ ン	(	4, 352, 400 )
変 動 販 売 費	(	558, 000 )
貢 献 利 益	(	3, 794, 400 )
固 定 費	(	3, 400, 000 )
営 業 利 益	(	394, 400 )

1 つにつき 2 点 合計 20 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 【2 級解説】

## 第 1 問

1. 固定資産を買い替えたときは、旧固定資産の売却と新固定資産の購入の処理を同時に行います。

## (1) 旧固定資産の売却

( 車両減価償却累計額 )	1,800,000	( 車 両 )	2,000,000
( 未 収 金 )	300,000	( 固 定 資 産 売 却 益 )	100,000

## (2) 新固定資産の購入

( 車 両 )	2,500,000	( 未 収 金 )	300,000
		( 未 払 金 )	2,100,000

2. 法人税、住民税及び事業税をあわせて法人税等といい、決算において確定した税額を「法人税等」勘定で計上します。また、中間納付した法人税等は「仮払法人税等」勘定で計上されているので、これを取り消します。
3. 研究開発のために支払った金額は、すべて発生時に「研究開発費」勘定(費用)で処理します。
4. 手形の更改では、旧手形の返還と新手形の受取が同時に行われるため、「受取手形」勘定の減少と増加を同時に記入します。期間延長に係わる利息を新手形額面に含める場合と含めない場合があるので注意しましょう。

$$\text{前受利息} : \text{¥}120,000 \times \frac{2 \text{ ヲ月}}{3 \text{ ヲ月}} = \text{¥}80,000$$

5. 申込証拠金は、払込期日において別段預金勘定から「当座預金」勘定へ、株式申込証拠金勘定から「資本金」勘定へ振り替えます。なお、資本金組入額は最低限度額の指示があるため、払込金額の 1/2 となります。

< 申込金受入時の処理 >

( 別 段 預 金 ) 25,000,000      ( 株 式 申 込 証 拠 金 ) 25,000,000

※ 別段預金 … 金融機関における保管金をいい、他の預金科目で取り扱うことが適当でないものについて一時的に処理する勘定科目です。

## 第 2 問

各伝票から仕訳を行うと以下のとおりです。

## 入金伝票

( 現 金 )	211,000	( 売 掛 金 ( 横 浜 ) )	57,000
		( 受 取 手 形 )	18,000
		( 売 掛 金 ( 大 阪 ) )	20,000
		( 借 入 金 )	100,000
		( 未 収 金 )	16,000

## 出金伝票

( 買 掛 金 ( 四 国 ) )	22,000	( 現 金 )	109,400
( 買 掛 金 ( 東 北 ) )	35,000		
( 支 払 手 形 )	27,000		
( 消 耗 品 費 )	14,400		
( 未 払 金 )	11,000		

## 仕入伝票

( 仕 入 )	197,000	( 買 掛 金 ( 四 国 ) )	78,000
		( 買 掛 金 ( 東 北 ) )	119,000
( 買 掛 金 ( 四 国 ) )	1,000	( 仕 入 )	1,000

## 売上伝票

( 売 掛 金 ( 横 浜 ) )	135,000	( 売 上 )	229,000
( 売 掛 金 ( 大 阪 ) )	94,000		
( 売 上 )	1,500	( 売 掛 金 ( 大 阪 ) )	1,500

## 振替伝票

( 買 掛 金 ( 四 国 ) )	28,000	( 支 払 手 形 )	28,000
( 受 取 手 形 )	50,000	( 売 掛 金 ( 大 阪 ) )	50,000
( 買 掛 金 ( 東 北 ) )	80,000	( 売 掛 金 ( 横 浜 ) )	80,000
( 買 掛 金 ( 東 北 ) )	14,000	( 受 取 手 形 )	14,000
( 未 収 金 )	250,000	( 土 地 )	220,000
		( 固 定 資 産 売 却 益 )	30,000

## 第 3 問

本支店合併財務諸表の作成は、①未達事項の整理、②決算整理、③合併整理の順で行います。

## I 未達整理仕訳

(1) ( 本 店 よ り 仕 入 )	172,500	( 本 店 )	172,500
(2) ( 現 金 預 金 )	150,000	( 支 店 )	150,000
(3) ( 支 払 運 賃 )	40,000	( 支 店 )	88,000
( 広 告 宣 伝 費 )	48,000		
(4) ( 買 掛 金 )	50,000	( 本 店 )	50,000
(5) ( 支 店 )	12,000	( 受 取 手 数 料 )	12,000
(6) ( 本 店 )	90,000	( 売 掛 金 )	90,000

支 店		本 店	
前 T/B	1,967,800	(6) 90,000	前 T/B 1,609,300
	(2) 150,000		(1) 172,500
	(3) 88,000		(4) 50,000
(5) 12,000	残高 1,741,800	一致	残高 1,741,800
支店へ売上		本店より仕入	
	前 T/B 2,530,000	一致	前 T/B 2,357,500
			(1) 172,500

## II 期末修正事項

未達事項を整理し、照合勘定と内部取引勘定の一致を確認した後、決算整理事項の処理を行います。決算整理事項は、本店、支店別にそれぞれ行いますが、金額は最終的に合算されるため、学習上は以下のようにまとめて行うほうが効率的です。

## (1) 売上原価の算定について

( 仕 入 )	1,699,600 <sup>*1</sup>	( 繰 越 商 品 )	1,699,600
( 繰 越 商 品 )	1,732,500 <sup>*2</sup>	( 仕 入 )	1,732,500

決算整理時点では内部利益を考慮する必要はありません。内部利益の整理は決算整理後の合併整理にて行います。

\*1 期首商品棚卸高：本店¥1,019,600＋支店¥680,000＝¥1,699,600

\*2 期末商品棚卸高：本店¥810,000＋支店¥750,000＋未達¥172,500＝¥1,732,500

## (2) 貸倒引当金の設定について

( 貸 倒 引 当 金 繰 入 )	89,000 *	( 貸 倒 引 当 金 )	89,000
-------------------	----------	---------------	--------

\* 受取手形：本店¥1,420,000＋支店¥350,000＝¥1,770,000

売 掛 金：本店¥1,060,000＋支店¥560,000－未達¥90,000＝¥1,530,000

$(¥1,770,000 + ¥1,530,000) \times 4\% - \frac{(¥28,000 + ¥15,000)}{\text{前 T/B 貸倒引当金}} = ¥89,000$

## (3) 減価償却について

( 減 価 償 却 費 )	314,850	( 建 物 減 価 償 却 累 計 額 )	144,000 <sup>*1</sup>
		( 備 品 減 価 償 却 累 計 額 )	170,850 <sup>*2</sup>

\*1 本店： $(¥4,000,000 - ¥400,000) \div 30 \text{ 年} = ¥120,000$

支店： $(¥800,000 - ¥80,000) \div 30 \text{ 年} = ¥24,000$       合計¥144,000

\*2 本店： $(¥1,000,000 - ¥150,000) \times 15\% = ¥127,500$

支店： $(¥400,000 - ¥111,000) \times 15\% = ¥43,350$       合計¥170,850

## (4) 支払運賃について

( 前 払 運 賃 )	58,000	( 支 払 運 賃 )	58,000
( 支 払 運 賃 )	21,000	( 未 払 運 賃 )	21,000

## (5) 支払利息について

( 支 払 利 息 )	4,000	( 未 払 利 息 )	4,000
-------------	-------	-------------	-------

## (6) 受取手数料について

( 未 収 手 数 料 )	35,000	( 受 取 手 数 料 )	35,000
---------------	--------	---------------	--------

## IV 合併整理

決算整理事項の処理が本店、支店それぞれにおいて行われた後、はじめて本店側、支店側の金額が単純合算されます。単純合算後に行われる処理が合併整理であり、合併整理では財務諸表に表示しない不要な科目や金額を消去する以下の3つの処理を行います。

## 1. 照合勘定の相殺消去

( 本 店 )	1,741,800	( 支 店 )	1,741,800
---------	-----------	---------	-----------

## 2. 内部取引の相殺消去

( 支 店 へ 売 上 )	2,530,000	( 本 店 より 仕 入 )	2,530,000
---------------	-----------	----------------	-----------

## 3. 内部利益の消去

支店の期末商品に含まれる内部利益： $(¥517,500 + ¥172,500) \times \frac{0.15}{1 + 0.15} = ¥90,000$

(P/L) 期末商品帳簿棚卸高：¥1,732,500－¥90,000＝¥1,642,500

## 第 4 問

- (1) 材料購入代価：@1,500 円/kg×500kg+40,000 円=790,000 円
- (2) 予定配賦額 63,200 円－実際発生額 80,000 円=△16,800 円(借方差異)
- (3) 直接労務費：@1,200 円×906 時間=1,087,200 円  
 間接労務費：@1,200 円×(20 時間+10 時間)=36,000 円
- (4) 予定配賦率： $\frac{40,608,000\text{円}}{11,280\text{時間}} = @3,600 \text{ 円/時間}$   
 予定配賦額：@3,600 円/時間×906 時間=3,261,600 円
- (5) 予算差異：予算許容額 40,608,000 円÷12 ヲ月－3,328,000 円=56,000 円(貸方差異)  
 操業度差異：(実際 906 時間－基準 11,280 時間÷12 ヲ月)×@3,600 円/時間=△122,400 円(借方差異)

## 第 5 問

## 全部原価計算

売上高：6,400 円/個×1,116 個=7,142,400 円

売上原価：(1,000 円/個+1,500 円/個+2,000 円/個)×1,116 個=5,022,000 円

変動加工費率： $\frac{1,800,000\text{円}}{1,200\text{個}} = 1,500 \text{ 円/個}$

固定加工費率： $\frac{2,400,000\text{円}}{1,200\text{個}} = 2,000 \text{ 円/個}$

## 配賦差異

予定配賦額：(1,500 円/個+2,000 円/個)×1,116 個=3,906,000 円

実際発生額：1,500 円/個×1,116 個+2,400,000 円=4,074,000 円

配賦差異：3,906,000 円－4,074,000 円=△168,000 円(借方差異)

販売費：500 円/個×1,116 個+280,000 円=838,000 円

## 直接原価計算

直接原価計算では、売上原価を変動費のみで計算し、固定費は当期発生額をそのまま計上します。

変動売上原価：(1,000 円/個+1,500 円/個)×1,116 個=2,790,000 円

変動販売費：500 円/個×1,116 個=558,000 円

固定費：2,400,000 円+280,000 円+720,000 円=3,400,000 円